

令和5年度 保健体育担当者名簿の考察

1 各郡市における年代別男女の割合状況 (上段：人数(人)、下段：割合(%))

	20代	30代	40代	50代	60代	計
荒尾玉名	7	4	8	8	2	29
	24.1	13.8	27.6	27.6	6.9	
山鹿	1	1	5	5	1	13
	7.7	7.7	38.5	38.5	7.7	
菊池	11	12	9	12	1	45
	24.4	26.7	20.0	26.7	2.2	
阿蘇	6	2	1	6	1	16
	37.5	12.5	6.3	37.5	6.3	
上益城	1	7	5	5	0	18
	5.6	38.9	27.8	27.8	0.0	
熊本	27	49	26	41	5	148
	18.2	33.1	17.6	27.7	3.4	
宇城	6	2	4	10	1	23
	26.1	8.7	17.4	43.5	4.3	
八代	6	2	4	12	3	27
	22.2	7.4	14.8	44.4	11.1	
人吉球磨	4	5	6	9	1	25
	16.0	20.0	24.0	36.0	4.0	
芦北水俣	0	3	7	3	1	14
	0.0	21.4	50.0	21.4	7.1	
天草	8	6	6	10	1	31
	25.8	19.4	19.4	32.3	3.2	
合計	77	93	81	121	17	389
	19.8	23.9	20.8	31.1	4.4	

年代別割合は、20代30代を合わせて43.7%、50代60代が合わせて35.5%である。このことから、県全体として、教員の若年齢化が進んでいる一方、知識や経験が豊富な教員の割合が近づきつつある。今後研修会等を通じ、積極的に若手教師への知識や技能面において学びを深める機会を増やす必要が考えられる。また、地域によっては、年齢分布に偏りがある地域があることから、教員不足の解消も検討していかなければならない。

2 担当者の特技(専門)種目及び活動種目の一致状況

	荒玉	山鹿	菊池	阿蘇	上益	熊本	宇城	八代	人球	芦水	天草	計
担当者総数	24	9	37	10	15	126	18	24	18	10	23	314
一致者数	13	6	23	4	8	103	11	15	12	3	9	207
割合(%)	54.2	66.7	62.2	40.0	53.3	81.7	61.1	62.5	66.7	30.0	39.1	65.9

担当者の特技（専門）種目と部活動の担当種目の一致状況を見ると、一致者は計207名で、その割合は、65.9%と昨年度よりも若干増加した。しかし、地域によっては専門性が発揮される部活動配置となっているとは言い切れない現状も見られる。地域別にみると、阿蘇、宇城、八代が昨年度よりも改善されているが、菊池、上益城、人吉球磨、芦北水俣については、昨年度よりも大きく減少した。また、地域別に見ると、熊本市が81.7%に対し、芦北水俣が30.0%と地域間における差が大きい。今後、部活動指導が地域に移行していく自治体も増えていく見込みはあるが、子どもたちの自主性・主体性を育てていくためにも、より一層体育教師の専門性を生かした担当を配置していく必要が考えられる。

3 部活動の担当種目実施状況

	荒玉	山鹿	菊池	阿蘇	上益	熊本	宇城	八代	人球	芦水	天草	計	割合<%>
陸上競技	9	2	7	1	5	15	8	1	6	3	5	62	19.7
水泳競技	0	0	0	0	0	7	0	0	2	0	0	9	2.9
バスケットボール	3	1	4	1	2	14	1	1	0	0	3	30	9.6
サッカー	3	0	6	1	1	20	4	5	2	2	4	48	15.3
ハンドボール	1	1	0	0	0	5	2	0	1	0	2	12	3.8
軟式野球	2	0	1	2	2	7	0	3	1	4	1	23	7.3
体操競技	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0.6
新体操	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
バレーボール	2	1	8	3	2	19	2	8	2	1	7	55	17.5
ソフトテニス	2	0	1	0	1	7	0	0	1	0	0	12	3.8
卓球	0	0	0	0	1	4	0	1	0	0	0	6	1.9
バドミントン	0	0	1	1	1	3	0	3	0	0	0	9	2.9
ソフトボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.3
柔道	1	3	4	0	0	5	0	2	0	0	0	15	4.8
剣道	0	1	5	1	0	14	1	0	3	0	0	25	8.0
弓道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
空手道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ラグビー	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	5	1.6
テニス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	24	9	37	10	15	126	18	24	18	10	23	314	100.0

保健体育担当の80.7%が部活動を担当している。担当種目の中では、陸上競技、バレーボール、サッカー、バスケットボール、剣道が多く、5種目で70.1%を占めている。

《本紙編集にあたって》

各学校へ資料の調査を依頼しましたところ、年度初めのご多用の中にも関わらず、県内全学校より回収することができました。ご協力感謝申し上げます。

本年度も、昨年度の形式を引継ぎ、先生方の性別と授業時数、連絡先を削除して作成しております。また、SDGsの観点より、データにて配布をいたしました。先生方の教育活動充実のためにご活用していただければと思います。